

# 金沢教会のビジョン

2017年6月改訂

## 1) はじめに

私たちキリスト者は洗礼のとき、「キリストの祭司職（すべての人のために祈る）」・「キリストの預言職（すべての人にキリストを伝える）」・「キリストの王職またはキリストの牧職」（すべての人に奉仕する）」に預かり、その使命が与えられています。

このたび、金沢教会のビジョンを改訂するにあたっては、横浜教区神奈川第4地区のビジョンと深くかかわっているため、そのビジョンと課題に対応して、金沢教会としてのビジョンを以下の通りまとめました。

## 2) 神奈川県第4地区のビジョンとその課題

2012年11月、横浜教区神奈川県第4地区（金沢、横須賀三笠、横須賀大津、三浦海岸、逗子、雪ノ下、由比ガ浜、の各小教区）では、10数回の議論を重ね、下記のとおり、ビジョンを決定しました。

### ＜ビジョン＞として

**「無縁化する社会にあって、人と人との繋がりを大切にし、教会が絆づくりの拠点となる」**

### ＜課題＞として

1. 高齢者・障がい者・滞日外国人への関わりを強める。
2. 子どもたちに、地域の人に、福音を生き生きと伝える。
3. 隣人のための祈りを深める。
4. 時代の変化に常に感じながら、地区割りの見直し等にも柔軟に対応する。

## 3) 金沢教会が絆づくりの拠点となるために

### 1. 三部門のチームの設置と活動

金沢教会では、キリストの「祭司職」・「預言職」・「牧職」という、これらのキリスト者に与えられた使命を果たすため、また前述のビジョンを実行するため、既存のマリア会やヨゼフ会等の諸グループの他に、新たに「祈る力を育てるチーム」・「信仰を伝える力を育てるチーム」・「神の愛を証しする力を育てるチーム」の三部門のチームを設置し活動しています。

## 2. 将来構想委員会の設置と活動

金沢教会では、前述のビジョンの実行機関として「三部門のチーム」を設置するとともにスタッフ機関として「将来構想委員会」を設置し活動しています。

構成メンバーは、教会委員長、副委員長、三部門のまとめ役、ヨゼフ会長、マリア会長、財務委員長、営繕・管理委員、教会事務担当、主任司祭とします。

将来構想委員会は、①教会の現状分析、②小教区活動全般の評価・検討・見直し、③教会施設の改修計画、④三部門活動の取りまとめ、⑤防災計画の作成、等々、を検討し活動しています。ただし、将来構想委員会はいくまでスタッフ機関であり、最終決定権は教会委員会にあります。

## 3. 地区会活動の充実

金沢教会が「絆づくりの拠点となる」ため、「地区会」活動を充実させていきます。金沢教会の信徒は、お住いの住所によって、1－8地区のいずれかの地区会に所属しています。また、各地区会の世話人は「聖体授与の臨時の奉仕者」が兼務しています。

各地区会は電話連絡網を作成し、毎年1回地区集会を開催し、地区内信徒の交流や情報交換、特に病気や身体の不自由な方、高齢者、一人暮らしの方、介護や何らかの事情で教会に来られない方、転入・転出信徒、等々、の状況把握に努めています。

これらの情報をもとに各地区会の世話人は、主任司祭の許可を受け、病気や高齢のために教会に来られない信徒を訪問し聖体を授与するとともに、状況によっては主任司祭に連絡し、司祭から病者の塗油やゆるしの秘跡を授けていただけるように手配しています。

各地区会の世話人は年3回（復活祭・聖母の被昇天・降誕祭）、レターボックスの使用状況を確認し、お知らせ等がたまっている信徒には、訪問、電話、手紙等で連絡を取っています。レターボックスを持たない信徒には、レターボックスの使用を勧めています。

信徒が帰天した場合、帰天した信徒の地区の世話人は、主任司祭の確認を得た後、納棺、通夜、葬儀ミサ・告別式等の日程や具体的な打ち合わせを行っています。また、葬儀ミサ等の進行等は、帰天した信徒の地区会が手伝えることになっています。

## 4. 「家庭の祈り」「信徒のしおり」の作成と活用

### 「家庭の祈り」「信徒のしおり」の作成

信徒が絆を深め互いに祈り合う教会づくりをするため、「家庭の祈り」を作成しました。また、典礼、秘跡、信徒の生活、金沢教会の活動等、信徒が日々の信仰生活の中で福音を伝えるため、知っておくべき事柄についてコンパクトにまとめた「信徒のしおり」も作成しました。

「家庭の祈り」「信徒のしおり」の作成にともない、三部門の各チーム、教会学校、中高生会、マリア会、ヨゼフ会でその活用法について話し合いをもち、以下のようにまとめました。

### 「家庭の祈り」の活用法

- ① 各家庭で祈りを習慣づけるため、毎日の信仰生活の中で祈ってほしい基本的な祈りを「家庭の祈り」に掲載し、それを各家庭で活用することを勧めます。
- ② 入門講座、レクティオ・ディヴィナ等のキリスト教講座、三部門の各チーム、地区会、マリア会、ヨゼフ会等の会合や行事等の際、「家庭の祈り」の該当箇所を唱える等をして活用を図ります。
- ③ 外国籍信徒に対しては、日本語教室等の場で「家庭の祈り」（ローマ字併記）の使い方を説明し、活用することを勧めます。
- ④ 教会学校、中高生会は「家庭の祈り」の作成を機に、祈ることの大切さ、特に祈ることは特別なことでなく日常生活の中で自然と祈る姿勢が育っていくように図ります。

### 「信徒のしおり」の活用法

- ① 受洗者に対しては、入門講座のカリキュラムとして「信徒のしおり」を活用します。また、転入信徒に対しては、転入手続きの際に「信徒のしおり」を渡し、説明します。
- ② 全信徒に対しては、地区集会を利用して「信徒のしおり」の読み合わせをし、理解を深めます。
- ③ 外国籍信徒に対しては、「信徒のしおり」を活用して、日本語教室担当者や国際ミサ係り等の窓口を通して、タイムリーに質問や相談を受け、説明していきます。

## 5. 教会の維持管理・改修計画

「絆づくりの拠点となる」ため、教会の維持管理・改修計画も私たちの大切な務めです。

「将来構想委員会」で話し合いを重ね、教会委員会で承認を得た後、2014年3月の信徒大会で発表した金沢教会の「大規模改修計画」は以下のとおりです。「済」は2017年3月の段階で既に工事が済んでいるもの、「未」は未だ工事を行っていないものです。

- ① 聖堂・ホール・階段等の床補修工事……未
- ② 屋上防水工事……済
- ③ 聖堂・ホール・通路等の内壁内装工事……未
- ④ ホールの空調機更新工事……済
- ⑤ 聖堂の空調更新工事……未
- ⑥ 教会北側に設置している物置小屋の更新工事……未
- ⑦ なごみの部屋・台所・トイレの改修工事……済
- ⑧ 教会周りの水道管、ガス管、電気配管等の改修工事……未
- ⑨ エレベーターの改修工事……未
- ⑩ 園庭のマリア像の塗装……済

※ 「教会周りの水道管、ガス管、電気配管の改修工事」は、道路から園庭を通過して聖堂までの地中埋設の水道管とガス管と高圧電流が流れている電気配管等を経年変化に伴い更新する工事で、高額な費用が予想されます。

破損した場合は、水道管とガス管は地上に配管することにします。地上にある高圧電流が流れている電気配管は錆止め等の塗装を施しました。

※ 教会北側の崖は、大地震があった場合、横浜市から崩壊の危険があると指摘されています。そこで近隣の方々とともに、崖の崩壊対策工事を横浜市に要請しました。現在、崩壊防止対策工事の順番待ちです。

※ 横浜教区建設委員会から改修計画とともに聖堂・信徒館・司祭館等の将来の建設計画を提出するようとの要請がありました。2014年3月の信徒大会で発表したように、「将来構想委員会」で話し合った結果、改修計画だけでも高額になり、それに合わせて聖堂等の建設（新築）を計画すると、莫大な費用になります。少子高齢化、信徒数減、教会維持費減、という金沢教会の現状を考えると、現状では改修と建設を合わせて行うことは難しいという結論となりました。金沢教会としては、聖堂・信徒館・司祭館の維持管理をしっかり行い、現状の建物を長期使用する方向で進めています。

## 6. 聖書ヘルパーの任命と活動

「教会が絆づくりの拠点となる」というビジョンを果たすとともに、私たちは「信仰（＝キリストとの絆）を深める」必要があります。

入門講座、レクティオ・ディヴィナ等のキリスト教講座のリーダー等として「聖書ヘルパー」を、信仰を伝える力を育てるチームの推薦、教会委員会の承認後、主任司祭より任命しました。任命された「聖書ヘルパー」は、横浜教区共同宣教司牧（神奈川県）チーム主催のキリスト教入門講座等の研修コースを終了しています。また、聖書ヘルパーは「信仰を伝える力を育てるチーム」のメンバーも兼務しています。

### 4) 課題を果たすために

#### 1. 高齢者・障がい者・滞日外国人への関わりを強める

##### ① 病者・障がい者・高齢者等との関わり

金沢教会（担当：神の愛を証しする力を育てるチーム）は、各地区の世話人（兼、聖体授与の臨時の奉仕者）と連携し、病気・障がい・高齢者等の現状を把握し、訪問等を通して状況に応じた対応に努めます。その際、教会は一人ひとりを大切に思っていること、病者・障がい者・高齢者等の方と強く心が繋がっていることを伝えていきます。また、2月の世界病者の日、9月の敬老懇親会等の活動を通して関わりを強めていきます。

##### ② 滞日・在日外国人との関わり

毎月第4日曜日の主日ミサは、国際ミサ（スペイン語・英語・日本語）をささげ、ミサを中心に、滞日・在日外国人との関わりを強めています。また、毎日曜日の主日ミサ後、滞日外国人を対象に「日本語教室」を開催しています。

横浜教区難民移住移動者協議会（ENCOM）にはクリスマス献金を届け、横浜教区船員司牧協議会（AOS）には、外国から横浜港に寄港する船員の方に、手編みの毛糸の帽子とクリスマスカードを届けています。

##### ③ 知的障がい者施設、東日本大震災被災地との関わり

金沢教会は、地域の知的障がい者施設、金沢区福祉協議会と東日本大震災被災地に、チャリティーバザーの収益金を届けています。また、東日本大震災被災地には、毎年、有志が訪問しボランティア活動をしています。

## 2. 子どもたちに、地域の人に、福音を生き生きと伝える

### ① 信仰を深めるための講座の開設

金沢教会では、信仰を深めるために、キリスト教講座、カトリック教会の教え、聖書 100 週間、レクティオ・ディヴィナ、聖書に親しむ会、キリスト教入門講座等を開設しています。

### ② 司祭召命のために

司祭召命を小教区から出すことは、最大の宣教活動です。金沢教会は、日本カトリック神学院における司祭養成のために、司祭召命のための祈りと一粒会献金の活動を通して支援していきます。

### ③ 堅信式のために

堅信式の準備のため、「聖書ヘルパー」を対象に、「カトリック横浜教区典礼委員会著」（サンパウロ社発行）「堅信への旅」の学習会を開き、次回の堅信式に向けてのリーダー養成に努めています。

### ④ 子どもたちに福音を伝える

教会学校・中高生会は、毎主日ミサでの侍者、毎月 1 回の「子どもとともにささげるミサ」の先唱、朗読、共同祈願作成、奉納等で典礼奉仕をしています。

主日ミサ後、教会学校は「神父さまのお話」を中心に活動し、中高生会は聖書講座や教会行事の参加等について話し合いをしています。家庭における信仰教育の充実のため、初聖体を希望している子どもの保護者に「聖書ヘルパー」によるキリスト教講座を行っています。

隣接している天使幼稚園との関わりを強める場として「餅つき大会」「クリスマスの集い」を開催し、園児の参加を呼びかけ、教会学校への入学を勧めています。

その他、教会学校・中高生会は、イースターエッグ作り、合宿、バザーや納涼祭の手伝い、敬老懇親会の手伝い、地域の障がい者施設への訪問、クリスマスカード作り、等々、の活動を行っています。

今後の課題として、より一層保護者とリーダーが一丸になること、青年世代との交流を試みる事が挙げられています。

### 3. 隣人のための祈りを深める

金沢教会は、「祈る力を育てるチーム」で話し合い、下記のように「隣人のための祈りを深める」ようにしています。

#### ① ノベナ（9日間連続の意向ミサ）

意向：聖霊の働きを祈って（聖霊降臨の主日までの、週日ミサで9日間）

意向：福音宣教のために（降誕祭までの、週日ミサで9日間）

#### ② 十字架の道行（四旬節中の毎金曜日）

#### ③ 聖母行列（聖母月、5月の第2日曜日）

#### ④ ロザリオの祈り（ロザリオの月、10月の毎金曜日）

#### ⑤ 教会暦等に従って主日・週日の共同祈願で祈る

- ・年の初めに・世界の平和のために：1月1日のミサの中で
- ・新成人のために：1月第2日曜日
- ・キリスト教一致のために：1月18日～25日の主日、週日ミサの中で  
（キリスト教一致祈禱週間）
- ・子どもたちのために：1月最終主日ミサの中で（カトリック児童福祉の日）
- ・病者のために：2月11日「世界病者の日」の直前の主日ミサの中で
- ・性虐待被害者のために：四旬節第2金曜日の週日ミサと直前の主日のミサの中で（性虐待被害者のための祈りと償いの日）
- ・聖ヨゼフの取次ぎを願って：3月19日（金沢教会保護の聖人）
- ・青年のために：受難の主日（世界青年の日）
- ・教会の広報活動のために：復活節第6主日ミサの中で（世界広報の日）
- ・教皇・司教のために：6月29日「聖ペトロ・聖パウロの祭日」の直前の主日ミサの中で
- ・世界の平和のために：8月6日～8月15日の主日、週日ミサの中で  
（カトリック平和旬間）
- ・すべての被造物のために：9月第1日曜日主日のミサの中で  
（被造物を大切にする世界祈願日）
- ・高齢者のために：9月第2日曜日の主日ミサの中で（敬老懇親会の当日）
- ・滞日外国人のために：9月第4日曜日の主日ミサの中で  
（世界難民移住移動者の日）
- ・天使幼稚園のために：10月2日「守護の天使の祝日」直前の主日ミサの中で  
（天使幼稚園創立記念日）
- ・世界宣教のために：10月の最後から2番目の日曜日の主日ミサの中で  
（世界宣教の日）

- ・死者のために：11月2日「死者の日」以降の主日、週日ミサの中で  
(待降節第1主日前日まで)。
- ・七五三の子どもたちのために：11月15日の直前の主日ミサの中で
- ・聖書週間にあたって：11月第3日曜日～第4日曜日の主日・週日ミサの中で
- ・この一年間の恵みに感謝して：教会の暦最後の主日ミサの中で  
(王であるキリストの祭日)
- ・司祭・修道者召命志願者(神学生)のために：12月第1日曜日の主日ミサで  
(宣教地司祭育成の日)

#### ⑥ 教会の行事等に合わせて主日の共同祈願で祈る

- ・黙想会のために
- ・三部門のチームの研修会のために
- ・地区集会のために(地区集会が開催される主日)
- ・入門者・洗礼志願者・受洗者のために
- ・初聖体の子どものために
- ・幼児洗礼受洗者のために
- ・結婚をした人のために(この一週間に、金沢教会の聖堂で結婚式をした信徒)
- ・帰天者のために(この一週間に金沢教会で葬儀ミサ・告別式をした信徒)
- ・天使幼稚園の行事のために(運動会、クリスマス会、始業式、終業式、入園式、卒園式、等)
- ・教会学校、中・高校生会の子どもたちのために(始業式、終業式、卒業式等)
- ・地域の人々のために(納涼祭やバザーの際に)
- ・私たちの周りで生じた、その時々、の困難な出来事、その回復を願って

## 4. 時代の変化に常に感じながら、地区割りの見直し等にも柔軟に

### 対応する

2017年3月、横浜教区神奈川県第4地区(金沢、横須賀三笠、横須賀大津、三浦海岸、逗子、雪ノ下、由比ガ浜、の各小教区)は、ビジョンの振り返りと今後の課題について話し合いをしました。

そこでは、横浜教区全体で主任司祭が不在の小教区や巡回教会が増えている現状を踏まえ、第4地区7教会も将来をみすえ、集会祭儀の取り組み、教会同士の関係やどこかに拠点教会を作るのか、等々、今後の課題をして検討することが報告されています。

(了)